

佳作

## ありがとう

三重県 志摩市立浜島小学校六年 松尾 弥胡

あなたは、苦手なことからいげていませんか。自分にはできないと思っ  
ていませんか。私も少し前までは、そう思っていました。でも、お母さんに言われた一言で、こんな自分を変えようと思  
いました。どんなことにも挑戦できる人になりた  
いと思いました。そう思ったのは、私が五年生の  
ときの卒業式前のことでした。

そのとき私は、卒業式のときの校歌のピアノば  
んそうを任されていました。

「やっぱり無理。ピアノ、ひけない。」

私は夕飯の仕度をしているお母さんに言いました。  
お母さんは

「何で。」

とそっけなく返事をしました。

「だって、無理なんやもん。」

私は、少し小声で答えました。そのとき、お母さ  
んが急に表情を変えて私にこう言いました。

「弥胡、そんな簡単に無理って言ったらいかん。」

弥胡は無理って言う前に、ちゃんと練習しとる  
の。お母さん、弥胡が練習しとるの見たことな  
いよ。」

そう言われたとき、私はいっしゅんどキツとしま  
した。そして、お母さんの言ったことがとても身  
にしみました。あまりにもお母さんの言っていた  
ことが当たっていたから。少し私がかまっている  
と、

「弥胡、ピアノばんそうしたいんなら、無理って  
言う前に練習してみたら。」

私はお母さんにそう言われて、「絶対にひけるよう  
になってやるっ」と思いました。そして、次の日  
から卒業式の日まで、もう練習をしました。一日  
に何回も何十回も練習して、うでがつつたりした  
こともあったけど毎日毎日練習しました。

そして卒業式当日。体育館に入ったときから、  
私はずっときん張っていました。そしてピアノの  
イスに座ったとき、今まで以上にきん張りました。  
でも、勇気を出してしきに合わせてけんばんをお  
しました。そして、ピアノをひき始めました。ひ  
き始めると不思議な気持ちになりました。まるで、  
さっきまでのきん張がとけていったのです。そし  
て、ピアノをひけばひくほど楽しくなるのです。  
今までこんなにピアノをひくのが楽しいと思っ  
たことはありませんでした。そして、あつという間  
に曲をひき終わってしまいました。ひき終わって  
から私はうれしくてうれしくてたまりませんでした。  
学校が終わってから、走って家に帰り、だれ  
よりも早くお母さんにこのことを報告しました。  
するとお母さんは、笑顔で私に

「よかったね。」

と言って喜んでくれました。そのときお母さん  
には言わなかったけど、お母さんには今でも感謝の  
気持ちでいっぱいです。挑戦することを、そのう  
れしさを、喜びを教えてくれたお母さんには、今  
も感謝しています。ありがとう。

